

第 18 回益城町人権フェスティバル／町文化会館：1月 24 日(土)

## 益城町から人権の熱と光を

開会行事では人権標語募集で特選となった小中学生 4 人の表彰がありました。ロビーでは習字、絵画などの作品が展示され、ステージでは全小中学校が発表しました。



**益城中央小**▶水俣での現地学習を通して学んだ患者への差別の不当さ、地球環境や命の大切さを構成劇にして発表しました。

**津森小**▶地域の先達から受け継いでいる「<sup>ごさぶらう</sup>伍三郎農園」での体験学習を行い、仲間とともに命を育てることを通して学んだことを、劇にして発表しました。

**広安小**▶平和学習で学んだ命の尊さや人権を守ることの大切さを構成詩にして伝え、「平和であることへの感謝を忘れません」と力強く誓いました。

**飯野小**▶家族の仕事や思いを知るなかで、みんな一人一人がかけがえのない大切な存在であることを学び、それを構成劇にして発表しました。

**広安西小**▶家族の仕事調べを通して、働いている人は社会の中でそれぞれの役割を果たしていることを学び、そのことを構成詩にして発表しました。

**益城中**▶「ふたりのタロウ」の演劇や作文発表で「同じ人間なのに差別されるのはおかしい」「自分は関係ないと思わず、相手のことを考えて行動しよう」と訴えました。

**木山中**▶修学旅行で広島平和記念資料館を訪れ、戦争が終わっても人間を苦しめる原爆の恐ろしさや平和の尊さについて学び、劇にして発表しました。

このほか、平田舞踊教室の日本舞踊や人権擁護委員の発表、落語家桂福車さんの人権落語、人権バンド“ホライズン”のコンサートもありました。

「自分の目で確かめること」「考えたことを実践し続けていくこと」に一人一人が取り組み、差別のない住みよい益城町をつくっていきましょう。 **益城町教育委員会**

## 町内・御船署管内の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	発生状況(件)			
	町内		御船署管内	
	1月中	累計	1月中	累計
人身事故	10	10	29	29
物損事故	59	59	159	159
空き巣	0	0	4	4
自販機狙い	1	1	1	1
万引き	0	0	0	0
オートバイ盗	0	0	0	0
自転車盗	0	0	1	1
車上狙い	2	2	3	3

件数は平成 27 年 1 月末現在

### 問い合わせ先

役場総務課防災係 ☎ 286-3111

御船警察署・御船地区防犯協会連合会

☎ 282-1110 / ☎ 261 ~ 264

### トラブルにあったら

とはあり得ません。賞金が当たったというような不審なダイレクトメールが届いても、絶対に取り合わないようにしましょう。

訪問販売や電話勧誘販売などは、一部の取引を除き、書面を受け取った日を含めて 8 日以内であればクーリング・オフができます。また、勧誘時に脅されたなど恐怖を感じた場合は、警察にも相談してください。

(国民生活センター発行「くらしの豆知識」より)

### 問い合わせ先

役場住民生活課住民係 ☎ 286-3112

(上益城広域消費生活相談室)

日米を搗いて食事をつくった。本田家は他の坂上・吉田・坂田の三家と共に松井さんの家来であった。本田家の家紋は「笹違い」の紋で近所には無いとされる。

⑦政府軍による村中の民家への放火

(市ノ後の北村繁信氏談)

木山の市ノ後(旧称一の城)の住民は政府軍が烽火のため民家を焼くとの噂に怯え、鍋釜・食料を持って畠に逃げたが、戦後村に帰ってみると村中の民家は政府軍が烽火と薩軍を追い払うために全て焼き払い、残ったのは山村正一氏の土蔵ばかりであった。木山の町中もかなり焼けたが、高台の市ノ後が主体であったらしい。村人は政府軍の負傷者などにも親切であったが、以後は政府軍が来ても避けて一向に寄りつかなくなった。

御一新(明治維新の俗称)後、肥後藩士三宅某(みよけ)がかつての知行地の木山に西南戦争頃借金をして家を新築したが、不運にも高台の市ノ後だったので政府軍の烽火の対象となった。維新後の生活苦を訴えたが遂に焼かれて、以後三宅某は没落していった。

益城町文化財を訪ねる会  
会長 松野國策